

・移住交流支援センターだより・

NPO
グリーンパレーの
伊藤・後藤が
お届けします。



お問い合わせ
☎676-1177
IP: 2028

モノストックとは？

モノストックは、空き家片付けで出る不用品をリユースするための倉庫です。古くてもまだ使えるような家具家電、食器、古道具など、様々なモノを保管することができます。倉庫のモノを持ち帰ることができます。オープンデーを、町内在住・在勤の方を対象に、定期的に開催していますので、お気軽にお越しください。なお、ご家庭から出た不用品の引き取りは行っていませんので、持ち込みはご遠慮ください。

- 空き家から出るモノを再利用 - 「モノストック」オープンデー

3/26(日) 9時~12時
4/17(月) 9時~12時
神領青井夫・旧国道沿い



新規移住相談件数
12月: 11件
1月: 10件

今月のインタビュー

21年10月に東京からご家族で移住された松坂智美さんを紹介します。松坂さんは、下分地野のコーヒーキングスペースを拠点に、自分史制作事業をされています。

〈移住前の暮らし〉

東京の企業に13年勤めていました。当時の同僚であった夫と結婚して子供が生まれ、時短勤務などの制度を活用して仕事と育児を両立しようとしていましたが、次第に難しさを感じて退職し、起業の準備をしていました。

〈移住のきっかけ〉

私が退職してすぐ、夫に神山ま



松坂 智美 神奈川出身
孝紀 東京出身
更良 東京出身
恵時 東京出身
神領西青井夫在住

るごと高専の仕事へのお誘いがありました。夫は迷っていましたが「こんな機会は滅多にないから」と私は彼の背中を押して、夫の転職に伴って家族の移住が決まりました。

〈移住後の仕事〉

移住後に自分史制作事業を立ち上げました。依頼主から半生のお話を伺い、写真や文章でその方の人生を紹介するホームページを作る事業です。この事業をはじめたきっかけは、10年前に祖父の自分史を作ったことです。自分史を制作した3年後に祖父は亡くなりましたが、葬儀の参列者の多くが祖父の自分史を読んでくれていたおかげで、どこか寂しくない不思議なお葬式を経験しました。このとき、自分史に秘められた価値に気づき、一人でも多くの方の作品づくりをす

るべく奔走しています。

これまで神山出身の方の自分史を3件作りました。自分史を制作していると、その方がどんな思いをもって神山で暮らし、地域と関わってきたのかを知ることができます。その苦労や思いを聞くとき、その方への親しみや神山への思い入れが深くなります。



自分史制作のインタビューの様子

〈移住後の暮らし〉

自然が豊かで散歩が楽しいです。家主さんが畑をしに市内から通われていて、娘たちもお手伝いを楽しみにしています。周りの方も私たち家族を温かく見守ってくれて、東京にない豊かさを感じます。

〈今後の抱負〉

神山の方々の自分史を作ること、神山の素晴らしさを違う角度で発信したいです。神山にはこんなに魅力的な方々がいて地域を牽引しているということ、自分史を通して多くの人に知ってもらいたいと思います。